

平成26年10月10日

保護者 各位

南アルプス市立櫛形中学校  
校長 米長 敬生

学校創立記念日にもなう休業について（お知らせ）

朝夕の風がめっきり涼しく感じられる季節になりました。保護者のみなさまには、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。日頃から、本校教育に対しまして多大な御理解と御協力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、10月15日（水）は、昭和32年制定以来本校の学校創立記念日となっており、学校は休業となります。各家庭におきましては、本校の伝統や校風などについて親子で考える機会としていただくとともに、午後4時までは家庭学習をして過ごすこととなっておりますので、当日の過ごし方等、御指導をよろしくお願いいたします。

参考資料



櫛形中学校校章

校訓「高登彼岸」



東京タワーの設計者として知られる旧櫛形町出身の内藤多仲先生が、昭和32年、櫛中生の為に書いてくれた言葉が、校訓となっている。「高い理想の境地をめざして、その目的地に登りつくよう、懸命の努力を惜しむな」という意味である。

校章のいわれ

- ・ 梨の葉で山の字の形を表現し「山梨」
  - ・ 中でコマの形を表現し「中巨摩」
  - ・ 一番下に櫛の形を表現し「櫛形」
- つまり、櫛形中学校の校章は、「山梨県中巨摩郡櫛形地区の中学校」を表現したものである。

昭和31年 4月 小笠原中・櫛中・峡西中（旧野之瀬中）を統合して櫛形中となる。

32年10月 落成式を挙げる。10月15日を創立記念日に制定する。

34年 4月 校歌を制定する。

38年 4月 豊中と合併し、新たな櫛形中となる。